



小豆島八十八ヶ所霊場巡拝



平成24年
第46号

発行
 廣島新四国八十八ヶ所
 霊場第三十二番札所
 真言宗
 箱島山 慈眼院 正観寺
 小 出 真 行 弘

心暗きときは、即ち逢う所悉く禍なり。
 眼明かなるときは、則ち途に触れて皆宝なり。
 〔性霊集〕

幸せになろうと思ったら、心を明るくのびやかなゆったりとした、豊かな心にしておくことが必要である。

信ずることは安心になる

宗教は帰依の心を本とするといわれる様に、帰依の心を外にしては、宗教はなりたちません。帰依の心というのは拝まんとするところ、信ずるという気持の事です。

何物かに対して信じ、帰依するという気持のなるところには宗教は存在しません。仏教では昔から「仏法の大海を信を以て能入とす」といっていますが、少なくとも仏教の門に入るには、ぜひとも信ずるという心構えが必要です。ですから何人も一度はこの関門を経なければ本当に宗教の真髄にふれることも、つかむこともできません。

さて帰依、すなわち「信」ということは、相手のものを心から信じてこれにたよりきること、これを信受といいますが、この信受を徹底的に行うこと、どこまでも信受して行くことは、身も心

も投げ出して、み仏を敬礼し拜むことです。拜むという気持の中には、み仏を絶対に信ずるの意味が含まれています。また信ずる心はすべてのものに対して開く心であり、一切を素直に受け入れる心なのです。絶対に信じ得られるものを自己の心の中に持つことのできる人は、いかなる人にとっても大きな幸福です。帰依する何ものかをもっているものはほんとうに幸福です。信ずることは安心であり、疑うことは不安であり、なやみのたねです。不安を除いて真の安心を得て力強く、意義深く、朗らかに、明るく生活して行く所に、み仏を拜む者の幸があるのです。端的にいえば、われもひとにも真に生きんがためにみ仏に帰依し、礼拝し奉るのです。





石鎚山参拝



大念珠繰り

<http://www.shokanji.com>

正観寺HP（ホームページ）を開設いたしました。

「広島 正観寺 公式」と検索してみてください。



福餅まき



御加持

喜ぶこと

み仏の教えを聞いて、心に大きな喜びを感じたり、人が善行を修めるのを見て共に喜ぶことを、すいき「随喜」といいます。自分で善行をなすより、他人の善行を見て随喜する方が功德が大きいとさえ言われます。

たとえば、人の家の庭に花が咲いているのを見て、通りすがりの人が喜び、「きれいな花ですね」とほめること、これが随喜することです。人に喜ばれると、花を生けた人も、きっと嬉しくなるでしょう。人に喜んでもらうのも大事ですが、喜んであげることも大切なことです。お世辞でなく喜ぶことは、人を喜ばせることです。



習うより慣れる

人に教わったり、本を読んだりして勉強しても、なかなか理解できなかったことが、実際やってみるうちに、わかることがあります。どんなに難しいことでも、実際に経験をしてみることが大事であるという教えです。

正観寺では、大変ありがたいことに、毎年年末が近づいてくると檀信徒さんに門松を作って頂いていきます。竹を切りに行く事から始め、最後にはとても立派なモノになります。私も実際に一緒に手伝わせて頂くのですが、本当にこの「ことわざ」が身にしみます。



法螺貝ほらがい

法螺とは元来神仏の世界の音楽であります。法螺の音色は全てを震撼させる獅子ししの音響の響きであり、一切の障りを祓い除ける効果があると伝えられています。法螺貝を吹き、互いの意思の交流や神仏に対する神樂を奉納しています。



心の中に生き続ける

皆さんの大変愛しておいでの方、Aさんが亡くなります。皆さんは悲しみの底に沈む、泣く、胸をかきむしる。どうして死んでしまったのだ、どこへ行ってしまったのだ、この私を一人ぼっちにして、と叫ぶ。これが人としての自然、人情です。

その現身うつしみ、今まで目に見え手で触れることのできた肉体は、残念ながらもう生き返ってはきません。

しかし生き返ってくるものがあります。それは皆さんの大変愛していたAさんが、それまであなたの前でなされた行動、口からお出しになった言葉です。ともに生活しあっていた時間と空間の中の心の営み、思い出、それが何度となく蘇ってくるのです。そういう心の営み、思い出を皆さんはあらためて自分のものとし直します。そのために皆さんは相手のAさんに、「あのときは良かったね」と新しく共感を求めたりして、Aさんの思い出を膨らませます。場合によっては、その思い出を変えたり、そこから思い出を全く新しいものに作り直したりもします。それが人間の心というものです。……あなたのAさんは、亡くなった後も必ずあなたの心の中に生きています。それが人間同士のあり方です。

平成二十四年度 年間行事予定表

六			五			四			三			二			一					
		十八			十八			十八	八 ~ 十			十一			三			十八	一 ~ 三	
		観音縁日			観音縁日			観音縁日	小豆島八十八ヶ所霊場巡拝			観音大祭(火渡り・福餅まき)			星祭り(節分会)			初観音縁日	修正会(初祈願)	
七			八			九			十			十一			十二					
		十八			二十一			十八			十八			十八			十八		八 ~ 九	
		納観音縁日			大師縁日			観音縁日			観音縁日			秋季彼岸のお参り			地藏祭・施餓鬼(演奏会)		盆のお参り	盆のお参り
		年越祭																		

月例行事予定表

【諸祈願(護摩)】

毎月十八日に御本尊「聖観世音菩薩縁日」
(午前十時半)

十八日が祝日、日曜日の場合は、弘法大師
縁日(午前十時半)

但し、大祭の為(二月・三月・八月)は無し

高野山金剛流御詠歌教室(月一~二回程度)

参加者募集

一、平成二十四年四月八日(日)

~十日(火) 二泊三日
『小豆島巡拝』費用 三七、〇〇〇円

二、平成二十四年七月八日(日)

~九日(月) 一泊二日
『石鎚山参拝』費用 三三、〇〇〇円

基地・納骨堂空きがあります。

詳細はお寺まで、お尋ねください。

〒七三五-〇〇二九

広島県安芸郡府中町茂陰二丁目二一八-四

TEL 〇八二-二八二-五六六二

FAX 〇八二-二八五-五五三〇

正観寺